

令和7年度 学校評価(関係者評価)シート

学校名	加古川市立志方小学校
-----	------------

1 教育目標 かしこく やさしく たくましく

2 基本方針

- ・学習の楽しさを知り、自ら学ぶ子の育成
- ・自他を大切に、思いやりに満ちた人間関係を築ける子の育成
- ・心も体も健康で、粘り強く最後までやりぬく子の育成

3 指導目標

- (1)信頼される学校づくり
- (2)学習意欲の向上、確かな学力の定着
- (3)豊かな心の育成
- (4)健康な体づくりの推進
- (5)教職員の豊かな人間性と指導力の向上

評価基準

A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
信頼される学校づくり	学校園や家庭・地域との連携を意識した教育活動に取り組んでいる。また、学校の情報が適切に発信されている。	B	生活科や総合的な学習の時間で地域と連携したカリキュラムの継続を図るとともに、積極的な情報発信に努める。
確かな学力の定着	理由や根拠をもち、自分が考えたり判断したりしたことを、自分の言葉で表現し伝えることができている。また、ICTを教科・単元に応じて活用している。	B	ICTを使うこと自体が目的とならないよう、どのように使うのが効果的かを考え、より主体的な学びへつなげる。
豊かな心の育成	人権教育や道徳教育の充実を図るとともに、いじめの未然防止、見逃しゼロ、早期発見に努め、自分や他の人を大切にされた教育が推進されている。	B	縦割り班活動など、豊かな心の育成に効果的な児童主体の取組を支援し、教育活動全体で人権教育の充実を図る。
健康な体づくりの推進	基本的な生活習慣を身に付け、体力づくりに取り組み、安全に留意して生活しようとしていることができる。	C	学校保健委員会やインターネットトラブル防止講座への保護者の参加を促し、家庭との連携を深める。
教師力の向上	指導法を工夫して、思考力・判断力・表現力を育む授業が進められている。	B	職員研修で専門性を高めるとともに、研究授業の充実によって指導力向上を図る。

自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
公民館など地域と連携した教育活動が充実しているため、今後も取組を継続してほしい。	B
教職員の人数が少ない中でも、複数指導など工夫して取り組んでいる。また、授業を参観すると、ICTの効果的な活用が見られた。	A
子どもたちの方から挨拶がよくできており、小学校での取組が中学校にもつながっているため、さらなる充実を図ってほしい。	B
生活習慣について、これまでも児童や家庭に働きかけていると思うが、さらに啓発方法も工夫し、家庭と連携しながら引き続き取り組んでほしい。	B
経験や年齢に見合った頑張りが見られるが、向上心をもって、努力を続けてほしい。	A